



「未来につながる学期」～3学期始業式～

3学期の決意

生徒会代表 稲葉翔吾さん

2学期の期末生徒集会では、2学期の反省と冬休みの目標について話されました。生徒集会で各学年のリーダーから話された内容を意識した冬休みの生活はできたでしょうか。3学期はいよいよ1年のまとめを行う時期です。1年間の活動を振り返りながら、次のステップを見据えて生活していきましょう。



校長室からのリモート配信でした

3学期は短い期間ですが、3年生は新たなステージでのスタートを切るために、1・2年生は新しい学年になるための準備を行ってほしいです。

生徒会執行部では、生徒総会で話し合った取り組みを実施していきます。1月には「跳輪 week」と「交流清掃」、2月には「3分 study」と「教える会」の実施を考えています。一人ひとりが取り組みの意味を考え、前向きに取り組める環境を作っていきましょう。後期スローガン「跳輪」のように、みんなで「輪」となり、跳ね上がっていけるような3学期にしましょう。

新年あけましておめでとうございます。昨年末からの感染症の流行に配慮して、2学期の終業式に続き、始業式もリモートで行わざるを得なかったのは残念でしたが、冬休み中大きな事件・事故などはなく、3学期を迎えることができたことを嬉しく思います。

さて、3学期の登校日は1・2年生が44日、3年生が43日と大変短いですが、それぞれ次のステップにつながる大事な時期です。このようなことを念頭に置いて、始業式の式辞で話をいたしました。以下はその要旨です。



①3年生は、受験・卒業を控え、その取り組みが本格的となります。大変ですが中学生のこの時期に受験を通して「計画する力、自己分析力、我慢する力、コミュニケーション能力、健康管理を行う力…」など今後の人生でも必要な力を伸ばすチャンスでもあります。ぜひ仲間たちと一緒に乗り越えて欲しいと思います。

②1・2年生は新学年に向けての準備の時期となります。この「準備」は、単に心構えだけを

していれば良いというものではありません。2学期までの生活における課題について、具体的な改善策を考えて取り組んでみることで、来年度に向けての準備となります。特に2年生は、最高学年として全校をまとめていく上で、個人として、集団として、実践を積んでその力を伸ばして欲しいと思います。

③全学年に共通して、3学期は「未来につながる学期」です。だからこそ、それぞれの取り組みにおいて何らかの選択を迫られたとき、ぜひ、「これでいいや」という仕方なしの消極的な選択ではなく、「これがいい!」と思える、積極的で、かつ自分で選んだという責任の持てるような選択をして欲しいと思います。そういう選択を繰り返す中で、例え失敗したとしても、次のステップに向かって必ず生きた経験になるでしょう。



3学期も生徒たちにとって充実した日々となるよう学校でも取り組んで参りますが、いまだに感染症などが心配の折、ご家庭におかれましても規則正しい生活リズムの確立、予防対策などの健康管理にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



学校評価アンケートの結果

ご協力ありがとうございました



12月6日～12日、今年度の学校運営について振り返り、今後の教育活動に活かしていくため、生徒及び保護者の皆様を対象に学校評価アンケートを実施いたしました。つきましては以下の通り結果の概要をお知らせします。なお、1学期末に行ったアンケートから5ポイント以上変化があったものについては矢印で示しています。

経営の重点との関連	質問項目	生徒の肯定的回答 (%)	保護者の肯定的回答 (%)	まなびフェストの達成	
定 確 着 かな の 学力 の	授業に意欲的に取り組んでいる	87.4			
	授業の理解について	85.0 (各教科の平均)	83.6 ↑	○	
	家庭学習習慣について (1・2年生90分、3年生120分以上)	37.8 ↑	63.0 ↑		
	授業でわからないことを調べたり聞いたりして解決を図っている	77.0			
	学校の宿題だけでなく自主学習に取り組む	59.3		×	
健 健 やかな 心身の 育成	体力向上への取り組み	81.5	65.8 ↓	×	
	受診勧告に応じた受診		97.3	○	
	家庭でのインターネット利用時間	1時間未満	12.6		
		1～2時間未満	46.7		
		2～4時間未満	30.4		
		4時間以上	10.4		
	他人が困っているときは進んで助けようとしている	97.0			
自分には良いところや強みがある	78.5				
友達と協力するのは楽しい	95.6				
「自分と違う意見」について考えることは楽しい	83.7				
性 豊 の 育 成 かな 人間	場に応じたあいさつ	93.3	91.8 ↑	○	
	4月から読んだ本の冊数 10冊以上 (まなびフェストでの目標)	47.4 ↑		×	
	読書の習慣について		43.8		
	ボランティア活動・清掃活動等への取り組み	80.7	42.5 ↑		
地 地 域に 関か	学校は情報を積極的に発信するとともに、保護者や地域の情報を収集し、教育活動に生かしている		87.7		
	地域の活動に積極的に参加している	53.3	89.0		
他 そ の	学校は楽しい	91.1			
	将来に夢や目標がある	71.9			

※ 肯定的回答…「あてはまる」、「だいたいあてはまる」

特に問題があると思われるところを太い枠線で囲みました。

家庭学習の習慣については、前回に引き続き生徒自身、保護者いずれもから見てもいまだ習慣づいてはいないと考えられています。また「学校の宿題だけでなく自主学習に取り組む」が前回より少し下がり、県の目標値(58%)は上回ったものの、まなびフェストの目標値(60%)を下回りました。家庭学習に十分な時間を確保することが学習の内容の充実にもつながると考えます。

以前からの課題である家庭でのインターネット利用については、一般に中学生の限度と言われている2時間以上利用している生徒の割合が前回よりも増えて4割を超え、さらに4時間以上の生徒も10%を超えました。これらを見直し、改善することが家庭学習と同様、体力向上・読書の時間確保や取り組みの充実にもつながると考えます。改めてご家庭でもご協力をお願いします。

その他、自由記述では生徒指導に係るご意見(校則に関わること、問題行動についての情報発信など)、運動着の半袖シャツの色の改善要望、復興・防災教育への評価などを頂きました。これらの結果を職員や学校運営支援協議会で共有し、今後の教育活動に活かして参りたいと思います。